

[科目名] 中等教科教育法 (商 業 II)	[単位数] 2 単位	[科目区分]
[担当者] 砂 場 孝一郎 Sunaba Koichiro	[オフィス・アワー] 時間： 金曜日 12:00 ～ 12:50 場所： 非常勤講師控え室	[授業の方法] ①
[科目の概要] ※ 高等学校教科「 商 業 」の指導法 ※ 商業教育の理念、教育課程の編成方法、教育(授業)方法などについての認識と理解を得ること ※ 教科「商業」の、教育についての授業指導能力の基礎を培うことを目的に、講義と演習を行う。 ※ 2022年度(令和4年度)である本年度から、新学習指導要領が 学年進行で実施されるため、その要点の指導。 ※ 学校教育に関する法令全般の解説 と 教員としての資質の向上と人間性の確立を目指す指導。		
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] ・ 商業の専門高校では、20科目の専門科目が準備されている。 ・ この20の科目は、4つの分野と分野共通の科目群に分かれ、それぞれの科目が実践する力を育むと同時に 職業人として必要な豊かな人間性やコミュニケーション能力を育むように構成されている。 ・ 商業教育に携わる教師は、広い見識でこれらの科目を通して商業教育を実践しなければならない。 ・ よって、商業の教師を目指す学生は、大学(本学)において、関連する教育法規と専門的な商業の知識・技術を 体系的に学ばなければならない。 ・ そして、学んだ者だけが、教員採用試験を受験する資格が得られ、教師への道が拓かれる。		
[科目の到達目標(最終目標・中間目標)] 1 中間目標 ・ 商業教育の歴史的変遷を踏まえ、学習指導要領の内容を学び、商業教育の現代的課題 及び 学校教育を支える校長等の役割 更には 教育現場で発生する事象を法的に学び理解させる。 ・ 商業が現代において、どのような役割を持ち、どのような社会貢献ができるかを理解させる。 2 最終目標 ・ 新学習指導要領実施の初年度であるので、新しい時代を学ぶ心の準備の重要性を理解させる。 ・ 商業科教員としての資質 (知識 ・ 技術 ・ 心) の育成の重要性を理解させる。		

〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・ 前年度の学生の授業評価は、素直であり、实际的であり、厳しい内容のものであった。 ・ 板書の多い授業であるが、板書(文字を手書きすること)の重要性を理解できる学生であってほしい。 ・ この科目を、教員採用試験に対応できる授業内容にするように努めていきたい。	
〔教科書〕 ・ 高等学校学習指導要領解説 商業編、ビジネス基礎、新簿記、情報処理 以上4冊 ・ 上記教科書は、春学期 中等教科教育法（商業Ⅰ）において、4冊とも購入済みである。	
〔指定図書〕 ・ 必要な文献を随時指示する。	
〔参考書〕 ・ 青森県の教職・一般教養 過去問 当該年度版 協同教育研究会:編 協同出版株式会社 ・ 青森県の教職教養 参考書、青森県の一般教養 参考書 協同教育研究会:編 協同出版株式会社	
〔前提科目〕 ・ 必要な教職科目を、修得または履修していること。	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) ・ 学修の課題について ～ 教育現場で実際に課題として発生している課題(例：働き方改革)を取り上げ、討論を実施する。 それらの内容を、レポートとして作成し、論点整理をして提出させる。 ・ 評価の方法 ～ 学生の評価は、観点別（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解）評価に基づき、絶対評価の方法で厳正に行う。 ・ テストについて ～ 最後の第15回授業の中で、筆記試験(知識・考え方)の方法で小テストを実施する。	
〔評価の基準及びスケール〕 ・ 評価の基準は、前述の「科目の到達目標」にどれだけ届いたかを確認するために作成する。 ・ 具体的には、観点別（関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解）評価の項目に基づいて絶対評価を行う。 ・ そして、学生の授業内活動(模擬授業)・授業への参加貢献が適切にできていたか否かによって、評価する。また、小テストや出席(あるいは欠席)時数のみで、評価されることはない。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 ・ 高等学校教育に関する文部科学省の施策を理解し、教育に興味・関心を持てる高校教師を育成したい。 ・ 学生に対しては、教員免許取得のみを目的とするのではなく、教員採用試験の合格をめざしてほしい。	
〔実務経歴〕 ・ 該当なし	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 新学習指導要領 と 商業教育の必要性と意義 「教科商業」の科目の内容 と 科目構成分野 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説・「商業編」 ビジネス基礎、新簿記、情報処理
第2回	テーマ(何を学ぶか): 学校の組織 内 容: 校長・教頭・教諭等の役割 ※役割の具体的内容の確認 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説・「商業編」
第3回	テーマ(何を学ぶか): 生徒の個人情報の記録と保護 内 容: 通知表と指導要領 ※法令上の規定 作成上の留意点 内 容: 教科「商業」の科目「ビジネス基礎」指導の実際

第4回	テーマ(何を学ぶか): 生徒の指導 内 容: 懲戒と体罰について ※懲戒と体罰の法的根拠 体罰の判断基準 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第5回	テーマ(何を学ぶか): 教職員の服務 内 容: 服務の意味 服務義務 服務専念義務 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第6回	テーマ(何を学ぶか): 守秘義務の実際 内 容: 秘密とは何か 守秘義務違反の罰則 児童虐待との関係 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第7回	テーマ(何を学ぶか): 教員の処分 内 容: 懲戒処分と分限処分 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第8回	テーマ(何を学ぶか): 教員の兼職と兼業 内 容: 教育公務員の制限と特例 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第9回	テーマ(何を学ぶか): 教員の選挙運動 内 容: 教育の政治的中立性 と 公職選挙法 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第10回	テーマ(何を学ぶか): 教員の研修制度 内 容: 研修の重要性 研修の態様と服務との取り扱い 指導改善研修 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第11回	テーマ(何を学ぶか): 虐待 内 容: 虐待の意味 早期発見と通告義務 青少年保護育成条例 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第12回	テーマ(何を学ぶか): 障害者基本法 内 容: 同基本法の趣旨 学校教育と インクルーシブ教育 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説
第13回	テーマ(何を学ぶか): 教育の方法と技術 内 容: 教師の資質および教師という職業について 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説・「商業編」 ビジネス基礎、新簿記、情報処理
第14回	テーマ(何を学ぶか): 教師に求められる資質 と 生徒の学習評価 内 容: 商業科教師への期待 と 観点別評価の方法と実際 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説・「商業編」 ビジネス基礎、新簿記、情報処理
第15回	テーマ(何を学ぶか): 商業教育の指導方法のまとめ 内 容: 中等教科教育法(商業Ⅱ)全体の総括 小テストの実施 教科書・指定図書 高校学習指導要領解説・「商業編」 ビジネス基礎、新簿記、情報処理
試験	最終授業(第15回)の中で、小テスト(60分)を実施する。